

こどもを核としたまちづくり すべてのこどもの未来を守るために ～司法書士への期待～

明石市長・弁護士・社会福祉士
泉 房穂

一 はじめに

二 【総論】こどもを核としたまちづくり

すべてのこどもを応援

こども支援 = まちの発展

三 【各論】セーフティネットの確立（離婚後のこども養育支援）

弱い立場を救うのは、社会（行政）の責任

市民に近い基礎自治体だからこそ見えるもの

四 今後の取組み予定

児童扶養手当の毎月支給

五 おわりに

略 歴：1963年、兵庫県明石市生まれ。

東京大学（教育学部）卒業後、NHKディレクター、テレビ朝日スタッフを経て、
弁護士に（49期・兵庫県弁護士会所属）。

2003年、衆議院議員に当選。

犯罪被害者等基本法や無年金障害者支援法などの議員立法の制定に携わる。

2007年、社会福祉士の資格を取得。

2011年、明石市長に就任。

「支援を必要とするすべての人に、その人が必要とする支援を」をモットーに
国に先立つ全国初の“あたりまえ”の施策を次々に展開し、明石市の人口・地価・
基金の3つのV字回復も実現（人口のV字回復は関西唯一）。現在2期目。
弁護士市長会会長、赤門市長会事務局長、手話市長会事務局長としても活動。